

# スポーツ かわさき

No. 50

国体記念特集号

迎  
大会バスケットボール競技会

目次	
かながわ・ゆめ国体特集	②
国体室だより (最終回)	⑥
川崎市在住選手成績一覧	⑧
川崎市スポーツ賞受賞	⑨
「体育の日」スポーツを楽しむ	⑩
全国身障者スポーツ大会	⑫
第2回理事会・評議員会	⑭
第50号を迎えた「スポーツかわさき」	⑮
第13回川崎市民マラソン大会	⑯
少年少女スポーツフェスティバル	⑰
秋季市民大会行われる	⑱
アジア大会で大活躍か	⑳

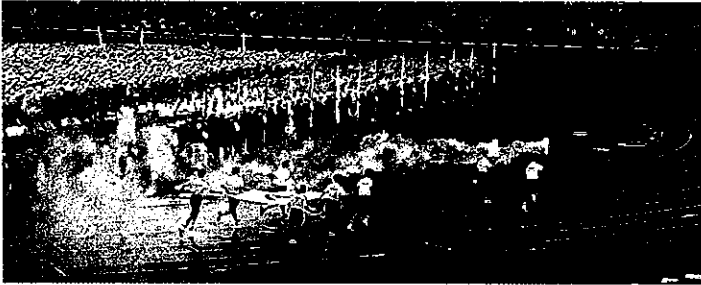
財団法人 川崎市体育協会



# 第53回国民体育大会秋季大会

## “かながわ・ゆめ国体” 晴れやかに開会！

第53回国民体育大会秋季大会“かながわ・ゆめ国体”の総合開会式が、天皇皇后両陛下をお迎えして、新装の横浜国際総合競技場に全国からの役員・選手約2万人、および関係者・観覧者5万人を集めて平成10年10月24日（土）、午後2時30分すぎから始まりました。



### 開始前のアトラクション 壮大なマスゲーム

開会式開始前の13時27分、天皇皇后両陛下がロイヤルボックスにご着席。アトラクションの集団演技が始まりました。保育園の園児たち、小・中・高校生から大学生たち、そして一般市民県民らのそれぞれの集団が、澁刺と若々しく、そして力強くしとやかに、音響と色彩と光の動きとをもって「神奈川の海」「青春の鼓動」「元気な声」「明日への希望」を表現し、5千人を越える演技者によって壮大なマスゲームが展開され、場内5万余の観衆を魅了しました。

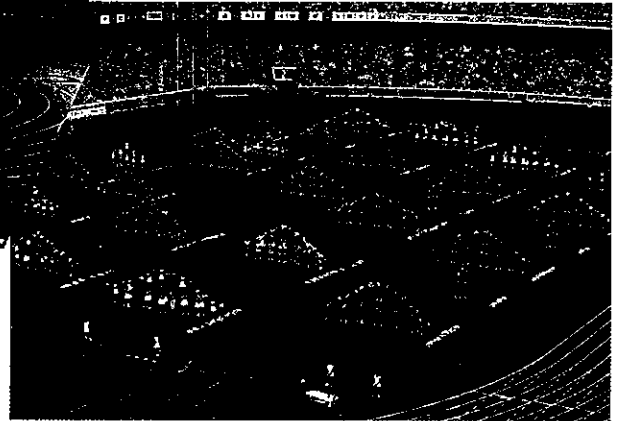
### 開会式 ダイナミックにそして簡素に

一旦退席された天皇皇后両陛下のご着席の後、役員・選手団の入場が、南の沖縄県を先頭に始まりました。

神奈川県吹奏楽連盟・合唱団による「箱根の山」「赤い靴」そして「ブルーライト・ヨコハマ」などおなじみの郷土の楽曲の演奏と歌唱に乗って整然と行進が行われました。

長く白い煙を引いて炬火が、6人の県内の高校生選手の掲げる大会旗を先導して場内を一巡。神奈川県出身の巨人軍の原辰徳やNHKの朝の連続ドラマ「はるうらら」の主人公を演じた須藤理彩たちの手を経て、炬火台に点火。一気に場内の気分が高揚し、「ともにここにいるのだ」という一体感が高まりました。大会会長、文部大臣の挨拶に続いて、神奈川県知事が、「21世紀に向けて大いなる“ゆめ”をこの大会に託し、相互の友情と信頼を強めよう」と歓迎の言葉を述べました。

ご臨席の天皇陛下から『日ごろ鍛えた力と技を



十分に発揮するとともに、選手相互の、そして県民との交流を深めるよう願います』とのおことばがありました。

引き続き各県選手団旗に取り囲まれて、神奈川県選手団の宮崎正裕（剣道）・高鹿万里子（クレール射撃）両選手の「スポーツを通じて、輝く未来へ、ゆめと希望を発信することを誓います」との力強い選手代表宣誓があり、開会式は滞りなく終了しました。

夕闇の迫った会場では、炬火の燃え盛る炎の下、引き続きアトラクションとしての集団演技が、テンポよく展開され、全体が終了したのは秋の深まりを感じさせる夕暮れの17時15分過ぎでした。

### 川崎開催の各競技場

川崎市内では、バスケットボール成年の部、軟式野球の成年1部、テニス成年男・女の部、ハンドボール少年男・女の部が開催されました。どの会場も市民の声援・歓声に支えられ熱戦が展開されました。

### テニス成年男・女 神奈川県勢大健闘

川崎市等々力庭球場および富士見庭球場で、10月25日から28日にかけて行われたテニス競技では神奈川県勢が大健闘で、競技別男女総合成績（天皇杯）では得点で第1位（170点）。同女子総合成績（皇

后杯)でも同じく第1位(得点75)で、共に総合優勝にむけて大きく貢献しました。特に少年男子(1位)は、試合前シード順位第5位であったものが一挙に優勝へと駆け上ったことは立派で、選手強化の成果を眼のあたりにした思いです。少年女子はシード順位第1位でしたが、本戦では大阪勢(2年連続優勝)の前に2対1で惜敗、第2位に涙しました。



富士見庭球場にて

**成年男子はシード第8位から第4位へ浮上。**

よく頑張ったのは成年男女も同じでした。特に成年男子は第8シードであったものが良く善戦し、準々決勝へ進出し、更に3~4位決定戦では第1シードの兵庫県を3対1で破って見事第3位を獲得しました。

また成年女子はシード順位第2位でしたが、本戦では兵庫県に破れて第3位とはなったものの、兵庫県はこの種目2年連続16回目の優勝県でもあるので、良く健闘したと称えたいものです。

**順位決定表**

順位	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
1位	富山県	兵庫県	神奈川県	大阪府
2位	京都府	京都府	岡山県	神奈川県
3位	兵庫県	神奈川県	熊本県	東京都
4位	神奈川県	富山県	愛知県	静岡県
5位	大阪府	千葉県	三重県	兵庫県
6位	北海道	大阪府	高知県	埼玉県
7位	福島県	福島県	山口県	福井県
8位	埼玉県	鹿児島県	千葉県	福岡県

**バスケットボール成年男子 超満員の決勝戦**

バスケットボール競技会は、川崎市体育館を会場として成年男子の部が行われました。

昨年2位、一昨年1位と好成績を上げ、今大会もと期待された地元神奈川県チームは、1・2回戦ともに楽勝で準決勝に臨みました。しかし沖縄



宮城 対 神奈川

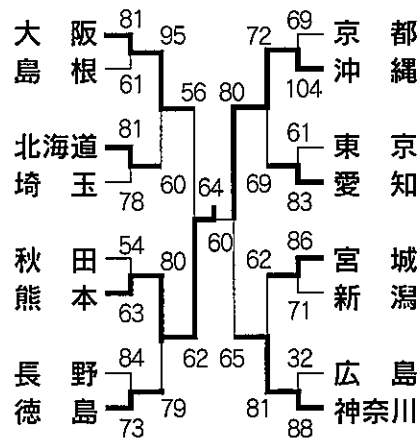
県によもやの大苦戦。元全日本角田を止められず、またオフェンスも林田(法政二高OB)の3ポイントシュートしか頼ることができず、80対65のスコアで敗退、3位となりました。

仮設席まで超満員となった決勝戦は、準決勝で大阪を破った熊本県と沖縄県の九州勢の対決となりました。一進一退の攻防から残り1分。山西が30秒ぎりぎり放った3ポイントシュートが見事に決まり、熊本県が4点差で逃げ切りました。来年国体開催県の熊本県は2回戦の長野県との戦いで残り40秒で6点差をつけられましたが、3ポイントシュートがたて続けに決まり、奇跡とも思える



大逆転。そのまま勢いに乗って1位となりました。

補助役員の高校生の働きについて、来賓の方々が感心されていました。



**軟式野球成年1部 空からかなべえ開始式**

10月25日、暑いぐらいのすばらしい秋晴れの中、午前7時30分、川崎球場において軟式野球競技、成年1部一般の開始式が行われました。早朝にもかかわらず内野席をうめた大勢の観衆が見守る中、朝日をあびた人口芝に色とりどりの花の鉢植えを添え、ホームベースを挟み左右に整列し

た大会役員、審判団また手話通訳者を交えた中を、開始のアナウンスと共にセンターから副審判長を先頭に国旗、国体旗、全日本軟式野球連盟旗、県旗、市旗が、市立高校の生徒のすがすがしい行進のもと入場してきました。続いて北海道を先頭に各県を代表するチームが、行進曲に合わせ素晴らしい行進で16チーム。センターからダイヤモンドのプレート位置へ向かって整列しました。競技会委員長の開始宣言に始まり、国旗掲揚、それぞれの旗の掲揚・競技会会長・川崎市長の歓迎の挨拶と、開始式は滞りなく終了しました。

上空に消防局のヘリコプターが現れたかと思えると、1つの物体が降りてきました。それは何と、かなべえの縫いぐるみでした。上空の風圧で物体としか見えなかった「かなべえ」はグラウンドへ降りるなり踊るしぐさ。これが周囲の雰囲気を一気になごませ公開演技へと移りました。

重厚な武蔵野太鼓の演奏があり、次に色鮮やかなコスチュームの、全国1、2位を争う住吉高校と南高校のチアリーディング。華やかな演技でした。整然とした亜細亜大学のマーチングバンドが最後をまとめ公開演技は終了しました。そして予定時刻を少し早め、第1試合の北海道と奈良県のプレーでいよいよ大会が始まりました。

富士見公園会場は、野球大会のほか、体育館ではバスケットボール、庭球場ではテニスと、早朝にもかかわらず人の流れができており、公園駐車場の仮設テントでは、スポーツ用品メーカーの即日販売とアトラクションで広場は賑わいを見せていました。

## スポーツ芸術 映画と写真展・市民ミュージアム

川崎市民ミュージアムを会場にスポーツ芸術の部として、10月1日から29日まで『スポーツ写真展』—FIFA World Cup FRANCE98—が開催されました。内容としては、まだ記憶の新しいサッカー・ワールドカップフランス大会での、日本選手の活躍ぶりを中心に撮影された写真の展示でした。また、これと平行して、10月20日からは『スポーツ映画フェスティバル』—スポーツの楽しさ・感動再発見—として、スポーツ記録を芸術にまで高めたと称賛された「東京オリンピック」をはじめ、「札幌オリンピック」「姿三四郎」など20本ほどの記録映画や劇映画が上映され、改めてスポ

ーツが人に与える感動のすばらしさを多くの市民に伝えました。

川崎アゼリアでは、県内を巡回する『かながわ・ゆめ国体開催記念写真展』—かなべえと見る昭和の国体—が10月10日から15日にかけて開催され、昭和30年に行われた前回神奈川国体の模様を写真で知るといふ試み。買い物や勤め帰りの市民の“かながわゆめ国体”への関心を高めました。

## 紀宮様も熱戦に拍手 テニスとハンドボール会場にお成り

紀宮様が、27日午前中に等々力庭球場のテニス競技と、アリーナのハンドボール競技をご観戦になりました。ハンドボール会場では、少年男子地元神奈川対福島選抜の熱戦に、純白に設けられたロイヤルボックスから終始拍手をいただきました。

## ハンドボール少年男子・女子 とどろきアリーナ 満員の応援をバックに

地元川崎出身選手大活躍で男女優勝！

ハンドボール少年男・女の部が10月25日から29日までの、会期5日間にわたり、とどろきアリーナで展開され、座る席がないと苦情が出るほどの満員の観衆の、圧倒的な声援に後押しされた地元川崎出身選手の大活躍によって、男女とも優勝という快挙を成し遂げました。

10月25日11時、テニス成年男女の開始式に引き続き、ハンドボール開始式の前の公開演技が始まりました。地元川崎市ハンドボール協会による“レッツ・ハンドボール”。日本のハンドボール界で活躍し



満員の観覧席



地元選手の活躍

た、または現在活躍している川崎出身の選手の紹介の後、中原地区を中心に少年野球やドッジボールを楽しんでいる小学生グループが、シーズンオフにハン



ドボールで楽しもうと10数年続けてきた成果を、全国から集まった人達に見てもらおうと張り切って参加、これに東生田小学校や川崎小学校のハンドボールクラブ、宮内・西中原中学校ハンドボール部・市内各中学校ハンドボール部主将たち総勢約250名が、日頃の練習風景をメインアリーナのフロアいっぱい力強く繰り広げました。日本協会や各地から集まった人達から、川崎のハンドボールの底力を見たと言われられました。

大会運営は大変円滑に進められました。競技・実施本部・国体室競技式典担当との連携がスムーズに行われました。ボランティアのみなさんも他県からの選手達に好評でした。

川崎市ハンドボール協会の役員の一は、「こんな素晴らしい会場を与えてくれた川崎市民のみなさんに恩返しできた」と喜びを語りました。

### チームワークの勝利。応援に感謝

県立川崎北高校ハンドボール部  
宮内 西中原 幸 高津

決勝戦!...ノータ임, フリースローだけを残して得点は13-12, 1点差で神奈川が勝っていた。地元で神奈川国体で優勝することができた。それまで感じていたプレッシャーがまったく消えた。何年も前から神奈川国体に向けて練習してきた。三校の混成チームだったので、毎日練習できず不安もあった。でも、14人全員が個々に練習し、優勝を目指して頑張ってきた。国体直前の合宿では次々に怪我人がでて、ムードが悪くなってしまった。それがあって一人ひとりが自覚もったことがかえってよかった。準決勝, 決勝ではいつも以上の力が出せ、チームワークの勝利だったと思う。最後に、応援してくださった方々に心からお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

開会に先がけ

## 炬火 川崎市内を走る

7区縦貫炬火リレー

国体開幕に先がけて、平成10年10月17、18日の2日間にわたり、そのオープニングを飾る炬火リレーが「くろがねの火」として川崎-幸-中原-高津-多摩-麻生-宮前の順に行われました。



鉄(くろがね)の火、川崎市長から第一保持者へ

採火式では扇島のNKK第一高炉から熔銑が採取され、市長より炬火採火が行われました。その後、出発式となり「君が代」「若い力」の演奏に引き続き大会旗などがリレー隊に委託され、市長から炬火保持者へしっかりと炬火が手渡され、市内炬火リレーがスタートしました。

この日は生憎の雨空となり、肌寒いなか児童・生徒、身体障害者、高齢者の方々も区民の代表として、川崎・幸・中原区内を走り高津区役所に到着した炬火はここで一泊しました。区役所ロビーでは諏訪神社祭囃子保存会による演奏やコンサートなどの前夜祭があり、悪天候に負けない盛り上がりがありました。

翌18日は、夜来の台風の影響もあり、小雨まじりの強風のなかスタートしました。高津区から多摩区へ引き継がれるころから天気も回復し、風は強いものの気温がグンと上がり、中継点や沿道にはたくさんの市民がかけつけ、小旗を振って声援を送っていました。



雨の中を走るリレー隊

多摩-麻生から川崎市最終区間の宮前区に入り一層の興奮と感動のなか、宮前区役所市民広場へ到着し、最終炬火リレー隊から宮前区長へ炬火・大会旗などが手渡されると、会場を埋め尽くしたたくさんの市民から大きな拍手と感動の声が上がり、「くろがねの火」リレーも無事閉会を迎えることができました。

## 閉会式

6日間にわたった秋季大会も、10月29日、すべての日程を消化して閉会式を迎えました。

この日もまた薄ら寒い一日でしたが、午後12時30分の開門と共に横浜国際総合競技場には次々と観衆が入場し始め、式典が始まる時には約1万人が集まり、活躍した選手たちを拍手で迎えました。

神奈川県選手団は一番最後に入場しましたが、紺のジャージ服で「かながわ・ゆめ国体へのご声援ありがとうございました」と書かれた横断幕を掲げ、手を振って行進していました。  
神奈川の総合1位で幕

県選手団の成績は男女総合（天皇杯）が3635.75点、女子総合（皇后杯）1582.25点。東京



閉会式の公開演技

や大阪を2倍近く引き離しての堂々たる優勝でした。表彰状を、県選手団を代表して山下泰裕副団長が受け取った後、岡崎洋知事と来年の開催地である熊本県の福島譲二知事が、「ゆめ国体」のマスコット「かなべえ」と熊本国体のマスコット「ひのっこ」を交換し合いました。

国旗・大会旗・日本体育協会旗・競技団体旗をはじめとして、神奈川県旗・都道府県旗・会場地市町村旗が次々と降納された後、6日間燃え続けた炬火も薄暮が迫ろうとする中、静かに納火されて「かながわ・ゆめ国体」も幕を閉じました。

## 国体室だより

(最終回)

ありがとうございました。

第53回国民体育大会（かながわ・ゆめ国体）は、関係競技団体をはじめとする各種団体と多くの市民の皆様方のお力添えをいただいで、無事終了することができました。ここに、皆様に賜りましたご支援・ご協力に心からお礼申し上げます。

### 国体が神奈川へやってくる

思えば昭和62年7月・県議会定例会において第53回国民体育大会神奈川県開催誘致が決議されて以来、平成2年3月には川崎市開催競技として、ボウリング・テニス・バスケットボール・ハンドボール・軟式野球の5競技が神奈川県準備委員会第3回総会で承認され、また平成4年3月には同第7回総会でスポーツ芸術の開催地に川崎市が選定されました。その後、数々の手続きを経て平成5年7月に第53回国民体育大会の神奈川県開催が内定、さらに平成7年7月に正式決定がされました。

### 川崎市では

一方川崎市においては、平成3年10月19日に第53回国民体育大会川崎市準備委員会が設立され、翌年4月から川崎市教育委員会に国民体育大会準備室が設置されて、準備活動が本格的にスタートしました。現国体室の誕生でした。その後は神奈川県開催の正式決定をうけて、平成7年7月24日「川崎市準備委員会」が発展的に改組されて「かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会」が設置されております。事務局を預かる「国体準備室」も年々職員が増員されるなか、平成9年4月からは「国民体育大会室」として本格体制が確立しました。同時に、川崎市職員で構成する「かながわ・ゆめ国体川崎市実施本部」を設置して、川崎市が主催する競技会等を円滑に運営するための組織が強化されました。

さらに、“国体を地域から盛りあげ、国体開催を契機に生涯スポーツを推進していく”組織として、各区には区内の各種団体が構成団体となって「おお汗こ汗推進協議会」が設置され、市民の応援体制も確立して、文字通り「かながわ・ゆめ国体」に相応しい“みんなが参加し、みんなでつく

る、みんなのスポーツの祭典”づくりへと発展してきました。

## リハーサル大会で腕だめし

競技団体・市民・行政が一体となって、国体開催機運が高まるなか、本番開催を1年後に控えて平成9年は川崎市開催5競技のリハーサル大会が開催されました。5月の軟式野球競技に始まり、7月のテニス競技、8月にはハンドボール・バスケットボールの2競技が、そして11月のボウリング競技と本大会なみの競技会でした。使用する各会場とも既に施設整備も終わり、競技を進める



かなべえと遊ぼう（交流広場で）

運営体制も本番さながらに進められ、ほとんどの人が初めての体験とはいえ、本番にむけての大きな自信を得たことは収穫でした。そのなかには多くの反省点もあり、それを糧にした準備作業はさらに強化されていきました。

## いよいよ本番

迎えて平成10年、「かながわ・ゆめ国体」の幕開けは、5月3日（日）、平塚市総合公園で開催された「開幕祭」。あいにくの雨模様にもかかわらず、スタンドは15000人の観客で埋まり、県実行委員会長である岡崎知事から『21世紀への夢を託した「かながわ・ゆめ国体」を是非成功させましょう』との熱いメッセージが送られるなか、第53回国民体育大会の幕は切って落とされました。いよいよ本番。

## まず「夏季大会」

川崎では、夏季大会・ボウリング競技が9月12日（土）から4日間、600人の選手・監督・役員を迎えて川崎グランドボウルで開催されました。会場内は連日満員の応援団の見守るなかで熱戦が繰り広げられ、一步会場外に出ると特設の休憩所では各県選手・役員の交流の輪が広がりを見せていました。さらに、大会2日目の13日には

多くの市民の歓迎の小旗が振られるなかで秋篠宮殿下ご夫妻をお迎えし、大会は一層の盛り上がりを見せてくれました。かくして、夏季大会・ボウリング競技会は、「成功」という声を耳にしながら終了宣言が告げられました。

## 「炬火リレー」で盛り上げて

国体開催を一気に盛り上げるために、開催県内のみで行われる「炬火リレー」は、国体にはなくてはならない大イベント。川崎市では、台風10号の接近で荒れる天候の中、10月17日（土）・18日（日）の2日間にわたって実施されました。初日の17日（土）は、川崎区扇島のNKKの高炉から、高橋川崎市長の手によって採火された炬火は「鉄（くろがね）の火」と命名されて、激しく降りしきる雨のなかを「出発式」会場から最初のランナーによって力強く走り出していきました。雨中のリレーは、川崎区～幸区～中原区と引き継がれ、2日目は高津区～多摩区～麻生区～宮前区と継がれていきましたが、降り続いた雨も多摩区へ入る頃にはあがり、太陽も顔を覗かせて順調にリレーされて最終地の宮前区役所に無事到着してその大任を果たしました。この間、616人のリレーランナーによって炬火は引き継がれながら、各区とも区役所を中心に、区民の趣向を凝らした歓迎イベントが開かれ多くの市民が参加しました。またリレーコースの沿道では、2日間で10万人近い市民が盛んな声援を送る姿が見られました。

## そして秋季大会

続いて、秋季大会は10月24日（土）の横浜国際総合競技場での総合開会式を終えて、翌25日（日）からテニス・バスケットボール・ハンドボール・軟式野球の5競技と公開競技のスポーツ芸術が富士見・等々力両会場の7競技会場で開催されました。富士見・等々力両会場には、各県選手・監督・役員と川崎市民の交流の場として「交流広場」も設置されました。そこには、郷土文化を紹介する特設ステージ、スポーツグッズや食べ物・土産物の販売コーナー、遊びの体験コーナー、市茶華道協会による野点コーナー等が設けられて連日選手や市民で賑わっていました。

一方競技会場では、どの競技とも熱い戦いが展開され、神奈川県選手団の活躍に多くの市民が客席につめかけて、熱い声援を送る光景がみられました。なかでも、市内の小中高生が連日応援観戦

# 第53回国体秋季大会川崎市

に詰めかけて、送る黄色い声援が選手たちの心を射止め、「かわさき」の印象を強く抱いて帰った選手も少なくないことでしょう。

## 感動呼んだ優勝シーン

熱戦・激戦のつづいた各競技のなかで、特筆しておきたいのは、大会最終日に唯一競技の行われたとどろきアリーナのハンドボール競技で、神奈川県チームが、少年男・女ともにアベック優勝を果たすという快挙をなし遂げたことです。

とどろきアリーナのメインコートで、男女隣り



ハンドボール競技開始式で高津高校チアー

合わせて決勝戦を戦う神奈川県チーム、満席の応援席からは熱烈な応援がつつくなか、女子チームは優勝候補「兵庫選抜」を13対12の僅少差で接戦をものにし、男子チームも接戦ながら実力どおりの優勝を勝ち取りました。優勝の瞬間、紙テープの乱れ飛ぶなか、喜びにわくコートとスタンドの光景は、「かながわ・ゆめ国体」の終演にふさわしい感動的な場面でした。

## 無事終了しました

大会は各競技会とも、神奈川らしさを前面に出しての簡素な運営となりましたが、成功のうちに無事終了することができました。

大会開催期間中、競技会運営に積極的に参加され、献身的な活動を提供していただいた市民協力員をはじめ学校関係者・競技団体関係者の皆様のご労苦に深く感謝申しあげ、また会場へ足を運び声援を送っていただいた5万人の市民・児童生徒のみなさんに心からお礼申し上げます。

## 終わりに

数々の思い出を残して、私ども「国体室」も11年3月には店仕舞いをしなければなりません。

お読みいただいた「国体室だより」のピリオドを打たせていただきます。ありがとうございました。

◇サッカー			
成年男子	1位	遠藤 雅貴 (中原)	
◇テニス			
成年女子	3位	仲島 千晶 (川崎)	
◇バレーボール			
少年男子	2位	後山 博史 (高津)	
◇体操			
成年女子	1位	野口 涼子 (川崎)	
◇バスケットボール			
成年男子	3位	小川 直樹 (中原)	
成年女子	3位	森田 小百合 (幸)	
◇レスリング			
成年男子グレコ76kg級	1位	三宅 靖志 (宮前)	
成年男子グレコ85kg級	2位	太田 浩史 (麻生)	
◇ハンドボール			
少年男子	1位	中野 侑 (宮前)	
少年女子	1位	鶴留 高伸 (監督・中原)	
		鈴木 葉子 (中原)	
		才治 美佳 (中原)	
◇空手道			
成年男子 (組手個人)	1位	亀 剛彦 (高津)	
成年男子 (組手団体)	1位	保谷 剛史 (高津)	

# 第34回全国身体障害者スポーツ

選手名	在住区	障害	競技種目
板鼻 敏	宮 前	聴覚2級	陸上200m走1位, 100m走1位
前田 憲造	幸	肢体4級	陸上走幅跳3位 (大会新), 100m走2位 (大会新)
秋月 誠	川 崎	聴覚4級	卓球2位
田澤 秀男	中 原	肢体2級	卓球2位, 陸上砲丸投3位
檜森 祐之	〃	聴覚2級	水泳100m平泳ぎ1位 (大会新), 50mバタ1位 (大会新)
早川 友二	〃	〃	水泳100m自由形1位 (大会新), 50m自由形1位 (大会新)
鈴木 泰久	高 津	肢体3級	陸上立幅跳2位, 砲丸投1位 (大会新)
大石 秀一	川 崎	肢体1級	水泳25m平泳ぎ1位, 卓球3位
小林 俊夫	宮 前	視覚3級	卓球2位, 陸上砲丸投1位
神長 達雄	〃	肢体6級	水泳50m自由形2位, 25m自由形3位
清水 守	川 崎	肢体5級	陸上砲丸投2位 (大会新), 水泳25m背泳1位
菅原勝千代	宮 前	肢体2級	卓球2位, 陸上ソフトボール投1位 (大会新)
上野 正二	川 崎	肢体4級	卓球2位
橋本 常信	宮 前	肢体5級	陸上立幅跳3位, 陸上ソフトボール投2位
福井 聖子	〃	肢体1級	陸上スラローム2位



## 在住の上位入賞者一覧( )内は在住区名

- ◇自転車
  - 少年男子 2位 大西 健士 (幸)
- ◇軟式野球
  - 壮年1部 1位 室伏 信雄 (監督・宮前)  
小笠原敏雄 (中原)  
山重 芳雄 (幸)
  - 成年2部 菅 純一 (宮前)
- ◇フェンシング
  - 成年男子 1位 五十嵐 博 (川崎)
- ◇ソフトボール
  - 成年男子2部 1位 浜田 晃 (多摩)
- ◇ライフル射撃
  - 成年 1位 太田ますみ (宮前)
- ◇剣道
  - 成年女子 1位 高橋 千秋 (宮前)
- ◇ラグビー
  - 成年男子 3位 和嶋 仁 (高津)
  - 少年男子 3位 清水 墨 (麻生)
- ◇なぎなた
  - 少年女子 2位 佐藤 瑠美 (中原)
- ◇新体操
  - 成年男子 1位 石田 良樹 (川崎)
- ◇高校野球 (公開競技) 少年男子 1位 小山良男 (幸)

## 大会川崎市代表の上位入賞選手一覧

選手名	在住区	障害	競技種目
大濱 稜子	高津	聴覚3級	水泳100m個人メドレー1位, 50m自由形1位
成田真由美	多摩	肢体1級	水泳75m個人メドレー1位, 50m自由形1位
城所 真弓	〃	肢体4級	水泳25m自由形1位 (大会新), 50m自由形1位 (大会新)
北島 絵美	川崎	肢体1級	陸上スラローム1位 (大会新), ピンバック投3位 (大会新)
中西富士江	高津	視覚1級	水泳25m平泳ぎ1位
岩沢 政子	幸	肢体3級	アーチェリー3位 (大会新) 陸上ソフトボール投3位
和田かよ子	〃	肢体5級	アーチェリー2位
山科 千代	川崎	肢体2級	卓球1位, 陸上ソフトボール投2位
水川よ志え	麻生	肢体2級	卓球1位
菅野 とき	川崎	肢体3級	卓球3位
石橋 吉博	多摩	肢体2級	陸上800m走4位 (大会新)

団体競技 バレーボール (男子) 3位

(全国障害者スポーツ大会の記事12ページに掲載)

財団法人川崎市  
体育協会副会長 **日野原 守氏**

平成10年度「川崎市スポーツ賞」受賞!



川崎市のスポーツ振興と競技力向上への多大な功績を評価される。

昨10年11月3日、川崎市教育文化会館で平成10年度(第27回)川崎市文化賞等の贈呈式が行われ、その中で当協会の日野原 守副会長が「川崎市スポーツ賞」を受賞しました。文化賞等とあるのは、川崎市の文化・地域社会・スポーツの各分野(教育・芸術・演劇・地域文化・医療・保健衛生・社会福祉・産業経済・スポーツ等の177団体を対象に審査)で功績のあった個人・団体に贈られるもので、平成10年度は7名・1団体が受賞しました。体協推薦の受賞者は5年ぶりです。日野原氏は多年に亘りソフトテニスの競技選手として活躍すると共に、昭和25年より種目協会役員としてスポーツの振興・強化に努める一方、市内各スポーツ団体等を統括する川崎市体育協会の各役員も歴任、市民スポーツ振興の推進役として、組織強化や生涯スポーツのための重点施策等にリーダーシップを発揮し、特に体協理事長時代にはその財団法人化(平成4年)の実現に大いに力を発揮されました。氏は現在もなお、体協副会長、川崎市ソフトテニス協会会長、川崎市スポーツ少年団本部長として活躍されています。

日野原氏は本誌に次のように感想を述べられました。(要約)

「贈呈式で市長から“川崎市で最高の賞”と言われた時には改めて光栄に感じた次第です。全国レベルの競技選手生活や各種役員生活を、多忙な会社勤務と両立した厳しさは感無量な思いですが、これも偏に体協の皆様のご指導ご協力のお陰であり、私というよりも、体協の活動が評価されたものと思ひ、体協を代表して受賞したつもりです」。



## 10.10 体育の日記念事業

# 秋晴れの一日、

10月10日(祝),『体育の日』を記念してさまざまなスポーツイベントが,川崎市教育委員会・(財)川崎市体育協会・川崎市体育指導委員連絡協議会・川崎市レクリエーション連盟の主催により,大師公園・富士見公園・等々力緑地など市内各地で開催され,多くの市民が秋の一日,思い思いのスポーツを楽しみました。

(財)川崎市体育協会に加盟する団体は,少年サッカー教室・少女サッカー教室・親子ラグビーフットボール・ソフトテニス・テニス・少年相撲大会・弓道教室・野球教室など3,000名を超える,子どもからおとなまでが参加しました。➔



一輪車の演技 とどろきアリーナにて



親子ふれあいゲートボール



目的地の等々力緑地はもう間近



# 体育の日

Let's Sports!



### 麻生スポーツセンター

- 大体育室
    - 9:30~11:30 エアロビクスマラソン
    - 12:00~13:00 ソフトバレー
    - 13:30~15:00 トランポリン
    - 13:30~16:00 バスケットボール
  - 小体育室
    - 10:00~11:30 健康体操
    - 13:00~16:00 卓球
  - 第1武道室
    - 10:00~11:30 空手
    - 13:00~14:30 少林寺拳法
    - 14:30~16:00 剣道
  - 第2武道室
    - 10:00~11:30 ヨガ
    - 13:00~14:30 柔道
  - トレーニング室
    - 10:00~13:00 ウェイトトレーニング初心者講習
    - 13:30~16:00 ベンチプレス大会
- ※屋内靴持参

### 幸

- 大体育室
- 小体育室
- トレーニング室
- 研修室
- 会議室
- 事務室

### 富

- 庭球場
- 相撲場
- 弓道場





# 思い 思いの スポーツを楽しむ

また、「スポーツからスマイルを」を呼びかけに、川崎市ゲートボール連盟の主管で、等々力緑地内催し物広場を会場として「親子ふれあいゲートボール大会」が開かれました。

等々力アリーナや各スポーツセンターでもソフトバレーボールのようなニュースポーツやファミリー体操など屋内スポーツが多彩に催されました。

これらに先立ち、10月4日（日）には、川崎ヘルシーウォーク実行委員会の主管する川崎ヘルシーウォークが行われ、2,000名の参加者が『健康と川崎を再発見』をスローガンとして、等々力緑地を集合点に市内7カ所（7つのコース）から“歩け歩け”で、心地よい汗を流しました。

## 記念事業

### マップ



#### 高津スポーツセンター

- 大体育室
    - 9:00~12:00 } バドミントン・卓球
    - 13:00~16:30 }
  - 小体育室
    - 9:00~12:00 } バasketボール
    - 13:30~16:30 }
  - 第1・第2武道室
    - 9:00~12:00 エアロビクス
    - 13:00~16:30 健康体操
  - トレーニング室
    - 9:00~12:00 } 一般開放
    - 13:00~16:30 }
  - 幼児体育室
    - 9:00~12:00 } 親子体操
    - 13:00~16:30 }
  - ゲートボール場
    - 9:00~12:00 } ゲートボール
    - 13:00~16:30 }
- ※スポーツウェア・屋内靴持参



#### 等々力緑地

- サッカー場
  - 12:00~16:30 四市対抗少年サッカー大会
- 野球場
  - 9:00~12:00 小学生野球教室
  - 13:00~16:00 A級チーム模範試合
- 競技場サブグラウンド
  - 9:00~15:00 親子ラグビー教室
- 庭球場
  - 9:00~16:00 テニス教室(ジュニア・初心・中級者)
- 催し物広場
  - 9:30~16:00 親子ふれあいゲートボール大会
- フィッシング・コーナー
  - 7:30~14:00 チャリティーへら釣り大会

#### とどろきアリーナ

- メインアリーナ
    - 9:00~11:30 } バドミントン・ニュースポーツ(バドミントン、ソフトバレーボール、ユニカール、シャッフルボード等)
    - 13:00~16:00 }
    - 11:30~12:00 一輪車デモンストレーション
    - 12:00~12:30 ラートデモンストレーション
    - 13:00~16:00 バasketボール(フリースロー)
  - サブアリーナ
    - 9:00~11:30・13:00~16:00 卓球・トランポリン
  - 体育室
    - 9:30~11:30 エアロビクスマラソン(予約制)
    - 14:00~15:30 ファミリー体操
  - 研修室
    - 10:00~11:30 ウォーキング&ストレッチ体操
    - 13:30~15:00 ジャズダンス
  - トレーニング室
    - 9:00~12:00・13:00~16:00 健康体力測定
- ※スポーツウェア・屋内靴持参

#### 石川記念武道館

- 柔道場
  - 10:00~14:30 柔道教室(講演会と実技)
  - 15:00~16:30 合気道・空手道・少林寺拳法教室
- 剣道場
  - 10:00~11:30 なぎなた教室
  - 13:00~14:30 剣道教室

#### スポーツセンター

- ~12:00 } トランポリン・バドミントン・バレーボール
- ~16:00 } トランポリン・バドミントン・バスケボール
- ~12:00・13:00~16:00 卓球・バドミントン・ソフトバレーボール
- ~12:00 } ランニングマシン・エアロバイク・
- ~16:00 } 他各種トレーニング器具
- 体験講座
- ~11:30 太極拳
- ~15:00 ヨーガ
- ツウエア・屋内靴持参

#### 見公園

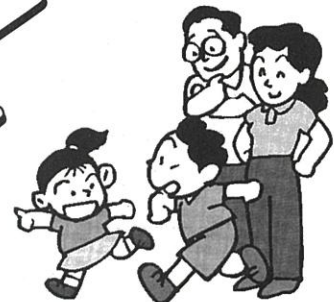
- ~16:00 ソフトテニス教室(ラケット・テニスシューズ持参)
- ~13:00 少年相撲教室と秋季市民大会
- ~15:00 弓道教室(初心・初級・中級・上級者)

#### 川崎市体育館

- 9:00~16:00
- 大ホール
    - 9:00~16:00 バドミントン・卓球・トランポリン・バドミントン
    - 12:00~12:30 チアリーディングデモンストレーション(出演:レグラス)
  - トレーニング室開放
    - 9:00~16:00
  - 運動相談コーナー
    - 9:00~16:00
- ※スポーツウェア・屋内靴持参

#### 大師公園

- 野球場
  - 9:00~12:00 小学生野球教室
  - 13:00~16:00 壮年野球模範試合







第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」開催される

平成10年11月7, 8日の2日間にわたり、横浜国際総合競技場をメイン会場にして第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」が行われました。

## 1 開会式

今にも空が泣きだしそうな、冷たい風が吹きすさぶ中、4万人を超える観客で埋まった横浜国際総合競技場で開会式がスタートしました。

午前9時、皇太子殿下、ならびに妃殿下のご着席後、北海道を先頭に北から南の順に役員・選手団の入場行進が行われ、その後開会宣言。ろう学校生徒で編成された鼓隊78名が保持・先導した大会旗が入場し、県知事及び市長に手渡されました。その演奏と見事なフォーメーションは観客に深い感動を与えました。

続いて炬火讃歌が流れるなか、障害者団体から推薦された走者により、炬火が引き継がれ、1998cmの炬火台に点火され、式典のクライマックスの演出となりました。

国旗・大会旗等の掲揚、歓迎の挨拶、皇太子殿下のお言葉のあと、神奈川県、横浜市及び川崎市の各選手団の代表3名が力強く選手宣誓を行い、スタンドを埋め尽くした観衆から大きく温かな感動の拍手が湧きました。興奮のなか、盲学校生徒の演奏、養護学校児童・生徒及び教職員による演技、園児たちの演技などで更に盛り上がり、開会式が終了し、選手たちは各競技へと準備に向かいました。以下は川崎で行われた競技です。

## 2 車椅子バスケットボール競技会

車椅子バスケットボール競技会は、川崎市「とどろきアリーナ」で、地区予選を勝ち抜いた7チームと、開催地の神奈川県・横浜市・川崎市の3チームにより行われました。

川崎市選抜チームは3年ほど前に結成されたチームで、中国・四国ブロック代表の高知県に善戦

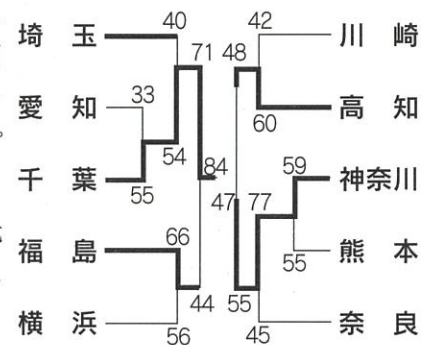


したものの初戦敗退。福島県に延長戦で敗れた横浜市と共にベスト4に残ることはできませんでした。

過去数回優勝している神奈川県は、1回戦で九州ブロック代表の熊本県に2ゴール差で競り勝った後、2回戦の奈良県には30点差で大勝。準決勝も7点差で高知県を退け千葉県との決勝戦に駒を進めました。

しかしながら決勝戦は、以前、世界選手権に出場した2名の有力選手をかかえる千葉県が評判どおりの実力を発揮、ポストプレイや速攻がよく決まり、地元神奈川を圧倒し優勝を勝ち得ました。

“多くの「ゆめ試合結果トーナメント得点一覽めフレンズ」のお陰で選手一人ひとりに満足してもらえる大会をすることができました”と、大会役員は満足げに語っていました。





### 3 卓球競技会

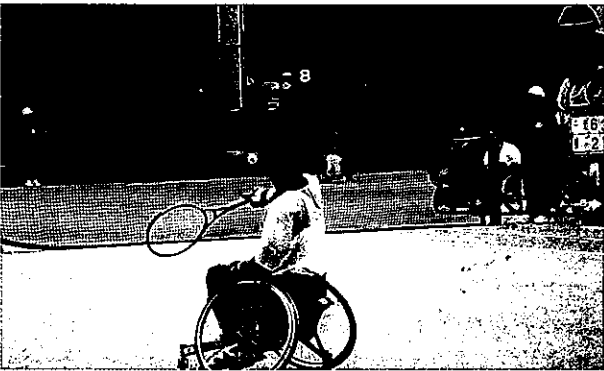
卓球競技会は、一般卓球がとどろきサブアリーナで、また盲人卓球が研修室で行われました。

身体障害者の卓球競技には、聴覚や肢体に障害を持つ選手などが参加する「一般卓球」と重度の視覚障害者の選手による「盲人卓球」があります。特に盲人卓球は通常のルールとは異なり、金属球を入れたボールを台の上で転がし、ネットの下を通して打ち合うもので、選手たちはボールの転がる音を頼りにプレーします。そのため、会場内は静寂が保たれなければならないので、応援者は別室でモニターを見ながら試合経過を観戦しました。

2日目の8日は好天に恵まれ、ふれあい広場では市民との交流もにぎやかに行われるなか、皇太子殿下・妃殿下が卓球会場をご覧になりました。途中、選手に励ましのお言葉をかけられたり、また役員やボランティアの人たちにもお尋ねやねぎらいのお言葉がかけられ、予定時間を大きく超過し次の会場へと移動されました。

この大会は、競技役員や多くのボランティア・ゆめサポーターの活躍があったからこそ選手の皆さんも力の限りを尽くし競技できたのだと思います。大会を通じ、多くの人々が共に力を合わせて生きる社会の素晴らしさを実感するとともに、「かながわ・ゆめ大会」が爽やかで心のこもった大会であったと確信しています。

### 4 車椅子テニス競技会（公開競技）



車椅子でテニスをプレーする方々の、その器用さ、力強さ、チームワークの良さには正直いって驚かされました。

車椅子テニス独特のツーバウンドまで良しとするルールには、実際に審判をした者としてすぐに慣れましたが、これがこれ程までに迫力あるプレーを見せるとは思いませんでした。

特筆したいのは、ネット際に落ちたドロップショットをベースラインから車椅子で猛ダッシュ、そして急ブレーキでスリップしながら返球！この迫力に観客の拍手は鳴り止みませんでした。ルールの中で車椅子は彼らの身体の一部であるというおと、ラケットを持ち、前後左右に動き回るプレーは、とてもハンディのある人たちとは思えない程でした。また、後片づけもブラシ掛けもでき、余計な気遣いはいらなかったと思います。これを機に一般の人たちにも、もっと理解を深めてもらいたいものと思いました。（川崎市テニス協会 原口貴史氏記）

### 5 閉会式（横浜国際総合競技場）

前日の開会式とは打って変わった、穏やかな秋空のもと、閉会式は8日、15時30分に始まりました。



開式通告後、2箇所のゲートから入場した各県役員選手ともに、全力を出し切ったすがすがしい笑顔が印象的で、観客もねぎらいと感動の意を込めて小旗を大きく振り、温かい雰囲気にも包まれていました。

特に、盲学校生徒からの“2日間の大会の意義をこれからの人生に生かそう”という趣旨の「惜別のことば」は、記者を含め目頭が熱くなるほどの深く大きな感銘を会場全体に与えました。

各旗降納のあと、2日間にわたり大会を見守り続けてきた「ゆめの火」が静かに納火され、大会旗が来年開催の熊本県知事に引き継がれ、閉会が宣言されました。

選手たちは、興奮さめやらぬ中、互いに握手や言葉を交わしながら思い出をかみしめ、あるいは友情を確かめあいながら、会場を後にしていきました。選手・役員そして観客が一体となった、障害のある人もない人も、まさに皆で作った温かく爽やかな「かながわ・ゆめ大会」のフィナーレでした。

## 平成10年度 第2回理事会・第2回評議員会開会

去る平成10年11月17日(火)、川崎市体育協会平成10年度第2回理事会は午後3時から、続いて第2回評議員会は午後6時から、それぞれ川崎市教育文化会館で開かれました。「かながわ・ゆめ国体」の終了にあたって、冒頭に高雲会長から第53回国民体育大会ならびに第34回全国身体障害者スポーツ大会の運営に当たった役員及び協力各団体・市民協力員の皆様への謝辞が述べられ、数件の報告事項のあと、次に挙げる2つの議案について審議されました。

市民各層の、スポーツに対する高度化・多様化に応えるため、市民等からの指導者の派遣要請に対して、生涯スポーツ指導者の確保と、計画的な派遣事業を積極的に推進する目的で、その運営要領と、運営委員会規定がまとまりました。具体的な内容は次の通りです。

昭和23年に発足した当協会が50周年を迎えるに当たり、この50年の足跡をしっかりと後世に伝えると共に、法人格を取得した体育協会の新世紀への進路を明確にし、川崎市民スポーツ普及・振興の中核団体として、加盟団体の総力を挙げ、川崎市民の皆さまへアピールをする機会として50周年の記念事業を展開する。

具体的な事業の内容としては

### ①50周年記念誌の発行

平成11年7月の発行をメドに、およそ200ページ、1000部とする。

### ②各種表彰等を行う

体育功労者・体育功績者表彰のほか、法人化の感謝状の贈呈を行う。

### ③50周年記念式典を行う

平成11年7月1日以降をメドに50周年記念式典及び祝賀会を行う。祝賀会は会費制とする。

### ④各種のスポーツイベントを開催する。

加盟団体が一堂に会し、一般市民にも参加してもらえるようなイベントを開催する。場所は等々力緑地内の各スポーツ施設(屋内・屋外)を予定。会場を確保後、開催要領を決定する。

### ⑤記念事業計画書・収支予算書の策定

川崎市へ事業概要を説明し、予算の依頼を行う。また体協評議員会・理事会には最終計画書および予算書を提案する。

以上が第1号議案として提案され、満場異議なく採択。これらの実現に向けて、記念誌分科会・表彰分科会・式典等分科会・スポーツイベント分科会等がツメの作業に入ることになりました。

### 新スポーツ課長に松村健氏着任

去る平成10年10月21日に逝去された前スポーツ課長、永田忠男氏に代わり、前国体室総務課長松村 健氏が1月1日付でスポーツ課長として着任されました。

市民各層の、スポーツに対する高度化・多様化に応えるため、市民等からの指導者の派遣要請に対して、生涯スポーツ指導者の確保と、計画的な派遣事業を積極的に推進する目的で、その運営要領と、運営委員会規定がまとまりました。具体的な内容は次の通りです。

市民各層の、スポーツに対する高度化・多様化に応えるため、市民等からの指導者の派遣要請に対して、生涯スポーツ指導者の確保と、計画的な派遣事業を積極的に推進する目的で、その運営要領と、運営委員会規定がまとまりました。具体的な内容は次の通りです。

### ①指導者の登録(以下抜粋)

市体協加盟団体の会長が推薦する者で市体協スポーツ指導者派遣事業運営委員会が承認した者。原則として川崎市在住・在勤・在学の加盟団体登録者で20歳以上の者を指導者として登録する。

### ②指導者としての要件

市体協加盟団体が認定する専門スポーツの指導実技及び競技規則等を理解し、安全で適格な生涯スポーツ指導能力を有する者(以下細則があります)。

### ③登録の手続き

申請書に必要事項を記入し、登録料を添えて申請する。申請書の受付は毎年1月10日から3月10日まで。資格の発効は4月1日からとする。

登録有効期間は2ヶ年とする。

### ④派遣の手続き

市民または公的機関・企業等からのスポーツ指導者派遣申請により、登録指導者の中から要請内容に適合する者を紹介・派遣する。

### ⑤指導者の活動と任務

公的機関が主催する、各種事業への参加協力及び市民の要請に応じた指導、ならびに自発的に市民のスポーツ活動の指導にあたる。

以上は極めて省略した内容で記載しましたが、すべて原案どおり承認されました。

◎市民の方々へは具体的な案内を別に発行します。



第50号を迎えた

# 「スポーツかわさき」

誌面もますます充実

## 発刊から19年

(財)川崎市体育協会の広報誌である「スポーツかわさき」が50号を迎えました。創刊は昭和55年10月1日。当初はモノクロ印刷、B5版6ページ建て、五段割りタテ書きのミニミニ広報誌でした。当時の市長で、体協の初代会長でもあった故伊藤三郎氏の書かれた“「スポーツ川崎」発刊にさいして”という挨拶で始まっています。『この小誌は、単に私どもの活動のPRのみならず、広く市民のみなさんに、スポーツの素晴らしさをご理解いただく一助になればと考え、発刊するものです』との趣旨を受けて、歴代の広報委員によって編集が受け継がれて来ました。

初代広報委員会委員長は故浅野浩志氏(スケート協会)。題字は現在と違って「スポーツ川崎」となっており、下欄に「より速く、より強く、より高く」のサブキャッチフレーズが入っています。

年3回の発行ペースはそのまま継続されていますが、体裁はいろいろと変わりました。

第8号から題字の地紋が変わり、第12号からは横書きの紙面となり、それに伴って左綴じとなり、ページ数も6から8ページへと増やされています。

## 2色刷りから4色刷りへ

第15号から第1面、題字部分がグリーンのカラフル印刷となり、同時に全面を写真で飾るようになりました。この時の広報委員長は故大山政次氏

(陸上競技協会)。紙面は10ページになりました。

第17号からは紙質がコート紙となり、12ページに増やされた紙面も、より鮮明に読み易くなってきました。

### 表紙・裏表紙全カラー化

昭和63年8月発行の第20号からは、広報委員長を左澤重明氏(山岳協会)が担当しましたが、この時から表紙と裏表紙の2面が4色刷りカラー化し、紙面が一層美しくなってきました。

## A4版に改訂

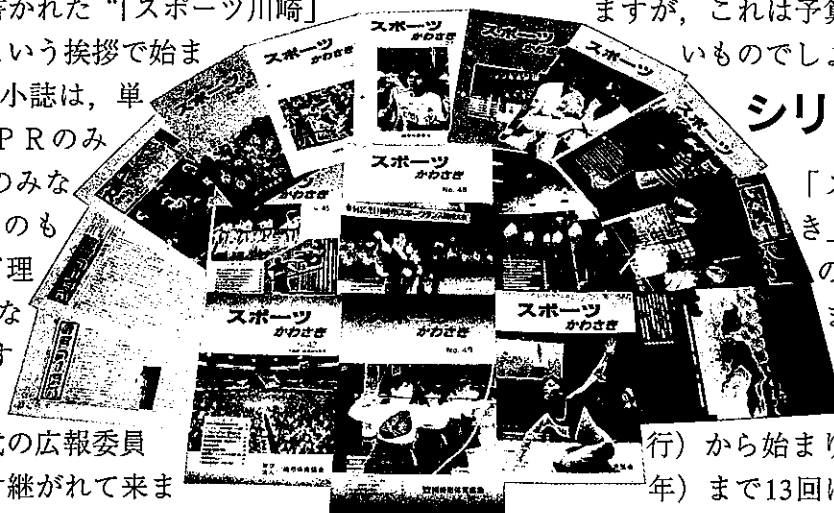
平成10年に至り6月発行の第48号からは、従来のB5からA4版となり、活字も9ポから10.5ポにアップされ、ますます読み易く、また中の2面にもカラーが入るようになってきました。いずれは、全ページをカラー印刷にしたいと願っていますが、これは予算上かなり夢に近いものではないでしょうか。

## シリーズもの

「スポーツかわさき」には、いくつかの連載記事が入りました。最初の連載ものは、第9号(昭和58年発行)から始まり第25号(平成2年)まで13回にわたった「スポーツ事故の応急手当法」(日本赤十字社救

急法指導員左澤重明氏)。次に(多摩保健所長野田晴彦氏による)「スポーツの安全のために、ストレッチング講座」が第26号から32号(平成5年3月)まで。次いで第34号(平成5年10月)から第41号(同8年2月)まで全8回にわたり「スポーツ心理学講座」(順天堂大学助教授中島宣行氏)が掲載されました。

また、「国体室だより」をはじめとして、幾つかのシリーズものもありますが、いずれもご好評を頂いたように思います。「スポーツかわさき」が、このように永年にわたり発行し続けて来られたのは、すべて市民の皆様の温かいご支援とご協力によるものと、深く感謝を申し上げているところです。今後ともご指導・ご協力を賜り、末永くご愛読下さるようお願いいたします。



# さわやかな汗は、正しい食事・生活から！

## 第1 市民マラソン大会で救護件数多数



平成10年11月15日（日）、恒例の第13回市民マラソン大会が等々力陸上競技場を発着とする多摩川リバーサイドコースで行われました。

今回は、ハーフの部に男女合わせて778名、10kmの部に1916名の合計2694名が暖かな多摩川沿いにそれぞれの思いを込めてさわやかな汗を流しました。

しかしながら、中にはさわやかな汗ではなく、冷や汗、苦い汗を流してしまった人も多くいました。川崎体育救護クラブの報告から見てみますと、応急手当したのが48件で、救護車で収容したのが15件以上と例年より件数が上回ったとのことでした。内容としましては、転倒し意識混濁、転倒し傷害、疲労リタイア、痙攣など多岐にわたっていました。中には救急車で病院へ行ったケースもありました。

原因としましては、一概には言えませんが、総合的に心と体の準備不足ではないかと思えます。朝食を取ってこなかったとか、前夜飲みすぎてしまったとか、ほとんどぶっつけ本番で走ってしまったとか、などなどです。これでは、楽しくさわやかな汗はかけませんね。特にマラソン大会のように長距離を走る場合には、前日までの心と体の準備はもちろんのこと、当日の起床時刻、朝食時刻とその内容などにもう少し気を遣ってほしいと思います。本人は当然ですが、走った仲間の人たちも周りの人たちも後味のよくない思いをさせていただきます。

来年の大会ではこうした救護件数が1件でも少なくなるよう参加する皆さんにお願いしたいと思います。なお各部の上位の成績は次の通りでした。

### ◎ハーフの部 35歳以下男子

- 1 小池 進（シーズRC） 1時間09分22秒
- 2 岩澤 英徳（あやめ会） 1時間14分47秒
- 3 鈴木 健吉（国士館大RC） 1時間15分20秒

### ◎ハーフの部 36～49歳男子

- 1 浦木 靖司（富士通川崎） 1時間14分36秒
- 2 北村 博（明治製菓東京） 1時間15分20秒
- 3 横尾 和夫（ハートブレイク） 1時間16分45秒

### ◎ハーフの部 50歳以上男子

- 1 荒木 和男（梶ヶ谷クラブ） 1時間21分23秒
- 2 高橋 欣三（駒沢公園JC） 1時間21分41秒
- 3 小金 啓志（キヤノン販売） 1時間22分02秒

### ◎ハーフの部 一般女子

- 1 若狭 賀子（川崎市役所） 1時間33分50秒
- 2 竹原 和枝（VIVA・SC） 1時間36分07秒
- 3 行場さえ子（友平・武彦の母） 1時間40分30秒

### ◎10kmの部 35歳以下男子

- 1 伊藤 伸一（石井電設） 31分56秒
- 2 田中 浩二（東芝小向） 32分59秒

### ◎10kmの部 36～49歳男子

- 1 杉本 修（あ一屋） 34分26秒
- 2 松本 光史（旭化成川崎） 34分43秒

### ◎10kmの部 50歳以上男子

- 1 宮本 康弘（NKK京浜製鉄） 37分27秒
- 2 西村 公夫（日本乳化剤） 38分07秒

### ◎10kmの部 高校生男子

- 1 箕輪 忠裕（菅高校） 35分02秒
- 2 大園 涉（百合丘高校） 35分05秒

### ◎10kmの部 35歳以下女子

- 1 武内ゆう子（レヴァン宮崎台） 41分12秒
- 2 金谷 織絵（NEC中研RC） 41分35秒

### ◎10kmの部 36～49歳女子

- 1 竹之内明子（町田韋駄天） 39分41秒
- 2 山口美津子（多摩川クラブ） 41分57秒

### ◎10kmの部 50歳以上女子

- 1 石川美恵子（多摩川クラブ） 44分29秒
- 2 中川 京子（宮前区） 48分04秒

### ◎10kmの部 高校生女子

- 1 遠藤 由子（多摩高校） 41分31秒
- 2 土居 真生（橘高校） 41分39秒



スポーツをしよう! なかまをつくろう!

川崎市スポーツ少年団の現況について

(その3)

# 少年少女スポーツフェスティバル



かわいいバッター

薄い少年たちや、スポーツ好きだが競技の場のない少年たちもたくさんいます。そこで、スポーツ少年団にこだわらないで、広く「スポーツ好きな少年」を育てることを考え、趣旨としては「少年少女が様々なスポーツの楽しさを体験したり、見たりして、興味や関心を高め、更に継続的にスポーツを実践していくための意欲を喚起すると共に、友だちとの出会いや交流の場とする」ということを狙いとしています。

内容としては[子供向けのやさしいスポーツの入門教室・体験教室][多少の経験者への講習会][仲間たちのプレーぶりや模範演技を見て、興味や意欲を喚起するもの]等いろいろありました。

なお、この催しは体協加盟の各団体と、レクリエーション連盟等の協力で16種目くらいがありました。今後も各層の生涯スポーツで健康を保持して欲しいものと思います。

また、これらの中には、少年少女のルールで行うサッカーのフットサル、



フットサル (ミニサッカー)

ソフトバレーボール、ミニバスケットボール等のほか、キッズピクセスや親子ダンス、あるいは各種ニュースポーツ等楽しく遊んでもらうものもあり、大勢の人が、何か所も見学したり体験してもらうなど、朝10時から一日中賑わいました。



リレーの練習



ミニバスケットボール



親子ダンス



ユニカール

# 秋季市民大会行われる

平成10年の秋、各種目で秋季市民大会が行われました。参加した人々はそれぞれにスポーツの楽しさを味わったことと思います。終了した大会について主な記録をお知らせいたします。

## ●バレーボール（6人制）10月11日とどろきアリーナ他

男子一部  
優勝 富士通Y 2位 東魂会（A）

男子二部  
優勝 RSK（B） 2位 Balance

女子  
優勝 バーバース 2位 ROOK

## ●バレーボール（9人制）11月3日とどろきアリーナ他

男子一部  
優勝 躍歩川崎排球会 2位 奔流道

男子二部  
優勝 三菱自工東京 2位 PiRiRi CLUB

女子一部  
優勝 TOP'S 2位 KID'S

女子二部  
優勝 どりーむ 2位 VOICE

## ●バスケットボール 12月13日高津スポセン

一般男子  
優勝 富士見BULLS 2位 ビヨンディ

一般女子  
優勝 東芝柳町 2位 フェアリーズ

## ●陸上（大会新のみ）11月3日等々力陸上競技場

中学女子 走幅跳 三船 美幸 5m17  
走幅跳 寺崎 朋子 5m04

60代男子 100m 山本 務 13" 80  
100m 古郡 春彦 14" 07

## ●弓道 10月18日富士見弓道場

霞的の部 団体  
優勝 臨港バス弓道部 2位 川崎弓道会 A

個人  
優勝 阿久沢 衛 2位 黒柳 裕之

色の部の部 団体  
優勝 川崎弓道会 A 2位 川崎弓道会 B

個人  
優勝 石渡 澄穂 2位 西田 弘子

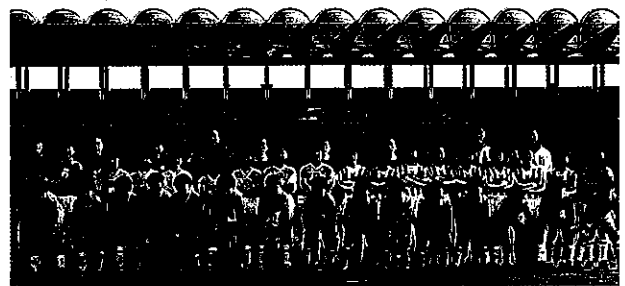
## ●相撲 10月10日富士見相撲場

高校生の部 個人戦  
優勝 佐々木恵太 2位 藤城 亮人

中学校の部 団体戦  
優勝 西中原中 A 2位 京町中 A

中学校の部 個人戦  
1年生戦 優勝 柴田 隆介 2位 中島 大志  
2年生戦 優勝 クリスチャン・オベヘロ 2位 レオナルド・オベヘロ  
3年生戦 優勝 菅原 学 2位 菅原 健

小学校の部 個人戦  
4年以下 優勝 岡田 琢也 2位 菅野 洋平  
5年生戦 優勝 佐藤 隼人 2位 平野 寿晃  
6年生戦 優勝 大石 保 2位 周藤 卓也



## ●空手道 11月22日とどろきアリーナ

組手団体戦 優勝 総合科学A 2位 森道場A

組手有段者 優勝 森田 元 2位 富高 勝久  
組手無段者 優勝 高橋 勇太 2位 砂田 泰輔

組手シニア 優勝 久徳 孝 2位 小日向紀継

組手女子 優勝 菅原佳奈子 2位 三浦 奈月

形 少年少女団体 優勝 泊親会川崎C  
2位 野口会高津A

形 有段者 優勝 船橋 智義 2位 須賀 正一  
形 無段者 優勝 後藤 充 2位 立原 徹

形 シニア 優勝 斉 利光 2位 小林 光雄

形 女子 優勝 坂内 里早 2位 川合さやか

## ●バドミントン 12月6日とどろきアリーナ

男子A級 優勝 寺崎 友晴（松尾組）  
2位 和田 瞬（松尾組）

男子B級 優勝 内谷 正明（東芝浜川崎）  
2位 川崎 広（東燃化学）

女子 優勝 宮田 慶子（個人）  
2位 古谷 美加（市水道局）

●少林寺拳法 (優勝のみ) 11月8日麻生スポセン

一般三段以上	近藤由美子	常住 竹虎
一般初～二段	小野 智和	国峰 泰之
一般段外	奥山 義智	於保 丈司
中学生有段	梶原 岳志	岩崎 昭浩
中学生段外	松浦 翼	松浦 翔
少年有段	小林 宜貴	笹平 隼人
少年1～3級	菅野 正法	奥貫賢太郎
少年4～6級	富沢 直樹	尾崎 勇介
少年7級～見習	矢内 義則	池内 雄也
親子	高橋 裕美	高橋 和也
単演一般有段	清水 翼	
単演一般段外	角本 秀幸	
単演少年有段	根本 正弥	
単演少年段外	宮下 佳征	

一般団体 優勝 川崎生田 2位 富士通中原  
少年団体 優勝 川崎生田 2位 川崎百合ヶ丘

●スポーツダンス (優勝者のみ) 11月22日幸スポセン  
シルバーチャンピオン戦ラテン

	齊藤 輝夫	安通 圭子
シルバー1級戦ラテン	各務 美朗	各務 節子
シルバー2級戦ラテン	一ノ瀬元吉	岩崎いく子
シルバー1級戦モダン	成瀬 喜信	成瀬 絹代
シルバー2級戦モダン	熊木 謙吉	熊木 篤子
チームマッチ戦	NEC社交ダンス	
市民チャンピオンシップモダン		

	林 昭義	根岸 政子
一般戦ラテン	松山 英樹	小山 洋子
一般戦モダン	佐藤 恒雄	本多 幸子
市民戦ラテン	清 まり恵	辺見 梨沙
市民戦モダン	飯島 勝	岡田 紀子
シルバーチャンピオン戦モダン		

平松 潤一 平松 文子

●体操 11月8日川崎市体育館

中学1年男	優勝 林田 祐輔	2位 渡辺 晃
2年男	優勝 山田 祥裕	2位 有馬 和浩
3年男	優勝 島田 進太	2位 梅田 睦史
中学1年女	優勝 若松 舞衣	2位 倉垣 晴菜
2年女	優勝 磯部 彩	2位 久手堅野里香
3年女	優勝 壺岐小夜子	2位 田代 和子
高校男子	優勝 戸谷田大輔	2位 野 和範
高校女子	優勝 渡辺茉莉子	2位 高橋 美穂
一般男子	優勝 津堅 修	2位 伊崎 信也
一般女子	優勝 佐々木友美	

●柔道 10月4日川崎市体育館

有段団体の部  
優勝 幸柔道クラブ 2位 車道場 B  
無段団体の部  
優勝 臨港バス A 2位 臨港バス B  
中学生団体の部  
優勝 南加瀬中 A 2位 南加瀬中 B  
小学生団体の部  
優勝 車道場 2位 やなぎ柔道クラブ

●剣道 11月29日とどろきアリーナ

女子3級	優勝 大塚 真純	2位 柳沼 結
女子2級	優勝 山野麻衣子	2位 森 由布子
女子1級	優勝 稲葉 美穂	2位 小野寺朱理
女子初段	優勝 金子 朋美	2位 南方 真紀
女子2～4段		
	優勝 折坂 紫帆	2位 下山 綾子
男子3級	優勝 川田 慶介	2位 野本 一良
男子2級	優勝 天内 勇樹	2位 藁谷 直優
男子1級	優勝 大田 桂	2位 広瀬 裕一
男子初段	優勝 廣谷 雅淑	2位 外山 慶介
男子2段	優勝 秋山 聡士	2位 相原 孝雄
男子3～4段		
	優勝 佐藤 信也	2位 矢部 正浩
七区対抗	優勝 多摩区	2位 幸区
四者対抗	優勝 川崎市役所	2位 実業団

●クレール射撃 9月26日神奈川大井射撃場

トラップ  
優勝 三瓶 勝吉 準優勝 金澤 義春  
スキート  
優勝 川村 優 準優勝 間瀬 博行





## アジア大会で川崎の選手たち大活躍 伊東選手ら川崎市長に報告



12月24日、バンコク・アジア大会で目覚ましい活躍をした監督選手たちが、結果報告のため地元川崎の市長を表敬訪問をしました。

この日、市を訪れたのは富士通陸上部（川崎陸協所属）の木内敏夫監督、伊東浩司（100m、200m、400mリレーに各優勝、いずれも大会新記録）・荻部俊二（400mリレー優勝）・土江寛裕（400mリレー優勝）の各選手、それに川崎出身（野川中、法二高）で法政大学生の大槻康勝選手（100m第3位、400mリレー優勝）の5人。市長・教育長らに迎えられ、市長から「今年は大きなスポーツイベントが続いた。その締めくくりとしてアジア大会があり、みなさんがすばらしい成績を上げられ明るいニュースを提供してくれた。ご苦労様」とのねぎらいの言葉があり、記念品が5人に贈呈されました。選手たちから一言ずつ大会の報告がありました。100mで日本記録を同時に樹立した伊東選手は、「これからも頑張って100分の1秒でも記録を縮めたい」と力強く今後の抱負を語りました。

### 高安君（法二）神奈川スポーツ賞受賞

神奈川のスポーツの向上と発展に貢献した団体・個人に贈られる『第47回神奈川スポーツ賞』の贈呈式が、1月17日に県立音楽堂で行われ、全国高校総体100mバタフライで2年連続優勝を勝ち取った、法政二高の高安 亮君が受賞しました。

高安君は、法政二高2年在学中で、100mバタフライのベストタイムは55秒33。宮前区在住。

こんにちは！  
私たち、広報委員です。

**初**めまして。私たち、広報委員です。「スポーツかわさき」第50号を記念して、写真で、自己紹介をさせていただきます。



- ☆左澤 重明（山岳）————委員長 前列中央
- ☆野口 始男（ハンドボール）————副委員長前列向かって右
- ☆皆川 敏明（陸上）————後列向かって左
- ☆中山 剛（バドミントン）————後列左から2人目
- ☆小坂 末吉（バスケットボール）————後列右から2人目
- ☆小嶋 創（水泳）————後列右
- ☆古谷 保（卓球）前委員——前列左

（ ）内は所属種目協会名。今後ともよろしく。

### 編集後記

◆成功のうちに国体終わる。「国体室だより」（途中まで「国体準備室だより」）が第36号から連載されて4年半、15回にわたり「かながわ・ゆめ国体」の情報を提供して頂いた。国体室の皆さん、長期間ありがとうございました。◆「スポーツかわさき」第50号記念、国体記念と併せて20ページ特大号としました。2色刷りの紙面も中に入りました。◆今後とも市民の皆様に愛される小誌となるよう努力したいと考えます。ご意見をお寄せ下さい。

### スポーツかわさき第50号（国体記念特集）

発行

平成11年2月28日

財団法人川崎市体育協会

〒210-0923 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

TEL 044-556-5511 FAX 044-556-5559

編集 (財)川崎市体育協会 広報委員会

印刷 (株)第一サンエー (TEL044-222-2356)